

委員会行政視察報告

議会運営委員会

視察日 10月13日

視察市 東京都調布市

視察項目

・議会運営委員会の状況
・議会運営等

議会運営委員会の状況

調布市は東京都の東部に位置し、人口約22万人。平成27年4月には市制施行60周年を迎えた。市議会議員は28名で、平成27年5月に改選が行われた。

調布市では議会基本条例の中で議会報告会の開催を定めている。平成27年は11月に開催予定であるが、平成28年度は5月（予算について）と11月（決算について）の年2回を予定している。この報告会は議員28名全員が参加しており、市民からも好評を得ている。市民からは「一年1〜2回でなく、4回は開催してほしい」との意見もあったとのこと。

また、調布市ではインターネット中継が行われており、議会運営委員会が所管している。本会議は生中継されており、誰でも家庭にあるパソコンで視聴することができる。録画放送についても、調整した上で会議終了後24時間経過してから見られるようになってきている。議会の休憩中はテロップにより休憩中であることを示し、再開時間がわかる場合にはその時刻についても表示しているとのこと。

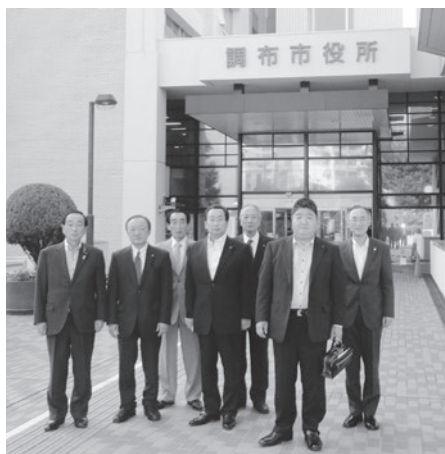
議会運営等

一般質問について、調布市議会では

一問一答制を採用している。まれに時間オーバーしてしまう議員もいたが、現在は一定のルールは守られているとのこと。

議案の意見が会派の中で割れることはないか、との質問に対し、意見調整した上で意見を一本化している。以前は会派の中でも本会議で表決時に退席したこともあったが今はない、との回答があった。

(安井和則)



庁舎整備特別委員会

視察日 10月28日〜29日

視察市 東京都豊島区・青梅市

視察項目

豊島区 新庁舎の市民窓口等の配置
青梅市 議事堂の設備等

新庁舎の市民窓口等の配置

豊島区新庁舎は、平成21年に新庁舎

整備基本計画を策定、庁舎位置変更条例の可決を経て平成27年5月に新庁舎が開設された。総合窓口や福祉フロアは市民にとっての使いやすさを優先し、1階には多目的スペースとし、2階は「タスクエア」、3階から9階までの壁面を利用した回廊美術館や屋上庭園を備え、憩いの場として利用できる庁舎を目指して建設された。

旧庁舎で使用されていた什器の再利用はどのように検証したか、との質問に対し、進化管理をプロポーザル方式により決定し、新庁舎の供用開始3年前から作業に着手した。使用可能なものを分類し、職員配置人数などを考慮した配置計画を行った。首脳部フロアは新品の什器を導入、事務室ゾーンは部課長を含め、ほとんどが古い什器を使用しているとのこと。発注に際しては公開調達としたが大手メーカーの応札はなく、ほとんどの什器類を地元である豊島区内の販売業者が納品したとのこと。

引越し作業は今年5月の連休を活用して行うことを決めていたが、何度も見直しをして今年の1月から2月頃までに、人事異動等も含め最終的な配置を決定したとのことであった。引越し作業の課題を伺ったところ、作業計画自体も進行計画のプロジェクトマネジメントで行ったが、もっと早い段階で専門の運送業者選定を行い、準備すべきであったと反省しているとのことであった。

議事堂の設備等

青梅市新庁舎は平成20年3月に着工、平成22年に開設し、平成23年4月に外構等の工事が竣工した。1階には来庁者の多くが利用する戸籍、福祉、税金などの窓口を集約し、来庁者の約8割が

このフロアのみで用事を済ませることができるようワンストップ化を図った。また、お年寄りや体の不自由な方も手続がしやすいよう低いカウンタートと肘つき椅子を配置し、また、1階には青梅マラソンの控室のほかイベント会場としても利用できる多目的スペース、障がいのある方が機能訓練を兼ねた喫茶コーナーや授乳室やキッズコーナーも設置した。

議会では、会議が始まる10分前から会議の終了するまでの間はライブ中継を行い、誰でもインターネットにより閲覧することができる。議会開催時以外は録画による放映があり、これもインターネットにより閲覧することができる。議場の傍聴席には親子席も用意されており、幼児を連れた傍聴者については、防音設備のある部屋から傍聴することができるようにしているとのことであった。

(藤原良範)

